教育目標
自ら学ぶ子　思いやりのある子　たくましい子
飯小は、この教育目標を理念に、「共に育ち、共に生きる　地域の学校」を目指します。

学校だより
上越市立飯小学校
明治9年8月 17 日開学
R3. 11. 19
第7号

いじめを見逃さないために

校長　長谷川　和彦

10 月 22 日　かがやき班遠足（金谷山）

10 月 13 日に令和２年度「新潟県児童生徒の生徒指導に関する状況調査結果」が発表されました。新潟県の小学校では、いじめの認知件数が 14,611 件で前年度に比べて 13％減少しました。その要因として、４・５月の臨時休業措置により学校で過ごす時間が短縮したこと、学校行事が中止または縮小、削減されたことにより、行事等に関わる友人とのトラブルが減少したため、と分析しています。

では、今年度の飯小学校のいじめの認知件数はどうなっているでしょうか。

10 月の「いじめ状況調査」を見ると、４月から 10 月までの認知件数は６件（昨年度４件）でした。６件のうち４件は解消済みで、２件は取組中です。いじめの態様を見ると、「冷やかし・からかい・悪口等」が４件、「軽くぶつかられたり叩かれたりする」が１件、「嫌なこと危険なこと等される」が１件でした。いじめ発見のきっかけは、「学級担任が発見」が１件、「本人からの訴え」が１件、「保護者からの訴え」が２件、「児童からの情報」が２件でした。６件中５件が、周囲の気付きによる発見でした。

飯小学校では、いじめを発見したら「いじめ防止基本方針」に基づき、迅速な対応に努めています。また、かがやき班（縦割り班）を中心とした豊かな人間関係作りにも力を入れています。さらに、いじめ見逃し０強調月間として、11 月８日～12 日の朝活動の時間を利用して、学級担任が児童一人一人と教育相談を行いました。19 日～30 日には、「友達とよりよく関わるために何が大切か」や「いじめを防止するためにはどうしたらよいか」を考えるため、全校で標語づくりを行います。

いじめの発見には、周囲の気付きや協力が欠かせません。これからも児童の表情や行動の変化を見逃さず、保護者や地域、関係機関と連携しながら、いじめの未然防止やいじめ見逃し０に努めてまいります。

あいさつ強調週間

毎朝、登校してくる児童は「おはようございます」と気持ちの良いあいさつをしています。そして登校してきた生活委員会の児童は、校長のいる校門前に立ち挨拶運動を始めます。

10 月 26 日から始まったあいさつ強調週間では、日替わりで各学年の児童があいさつ運動を始めました。どんどんとあいさつの輪が広がっています。

気持ちのよいあいさつで始まる飯小学校は、すばらしいと感じました。

Run ランチャレンジ会（11 月２日）

昨年度新型コロナウイルス感染症で中止となった Run ランチャレンジ会。今年は感染症対策を行って実施しました。業間休みや体育の時間に頑張った子どもたち。本番は自己ベストの更新を目指し、力強く走り切りました。応援に来ていただいた保護者の皆様、伴走ボランティアをしてくださった皆様、ありがとうございました。

命を守る訓練

11 月 16 日に不審者対応の避難訓練を行いました。スピーカーから不審者の侵入を知らせる放送が流れると、子どもたちは素早く教室の出入り口に机でバリケードを築き、外から見えない場所に身を潜めました。

不審者確保の放送で全校は体育館に集まりました。

上越警察署のスクールサポーターの方から不審者対応で大事なことを５つ教えていただきました。

①見た目で判断しない（不審者は普通の格好をしている）
②距離をとる　２ｍ（捕まらない距離）
③出やすい場所に注意（周りから見えない場所）
④不審者の手口に乗らない（不審者はやさしい声掛けをしてくる）
⑤一人にならない

12 月の予定

11 月 30 日～12 月 2 日	個別懇談会　校内絵画展
12 月 3 日	地域児童会　集団下校
12 月 7 日	PTA 常任委員会
12 月 24 日	2 学期終業式